

・初めに

私が今回の4泊5日の台湾研修に参加しようと思った最初のきっかけは、廊下に貼ってあった台湾研修の貼り紙を見て直感的に「行きたい!」と思ったからです。実際に申し込み、参加することが出来ました。引率してくれた先生方や一緒に研修に参加してくれたみんな、その他周りの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

■ 1日目：出発・到着とオリエンテーション

出発当日は、空港での手続きやフライトの中で、研修前の緊張感と期待が入り混じった雰囲気だった。台湾に到着すると、現地のガイドさんがホテルに向かうバスの中で、台湾のことについてたくさん話してくれた。また、夜ご飯は台湾料理の火鍋を食べた。台湾ならではの火鍋を味わうことができ、ここでやっと今私は台湾に来たんだと感じた。研修の1日目は良い1歩を踏み出せたと思う。

■ 2日目：私立立人国際小学校・幼稚園

2日目は、まず私立立人国際小学校・幼稚園に行った。そこで授業をした（詳しくは下記に記載する）。その後、昼ご飯で台湾料理の魯肉飯を食べた。台湾の味だなという味がして美味しかった。次に、タピオカミルクティーの専門店に行き本場のタピオカミルクティーを飲み、自由時間があつたので近くの商業施設を見て回った。夜ご飯は、小籠包で有名な鼎泰豊というお店だった。札幌駅のステラプレイスにも支店があつたので、研修に来る前にステラプレイスにある支店で食べてきた。いざ食べてみると、本場の小籠包はととても美味しく感動した。

■ 3日目：建安国民小学校・幼稚園

3日目は、まず建安国民小学校・幼稚園に行った。そこで授業をした（詳しくは下記に記載する）。その後、故宮博物院に見学に行った。まず特に印象に残つたのは、精巧に彫られた玉璽や、鮮やかな色彩と繊細な筆致が光る書画だ。それらは、古の職人たちが日々の生活や信念、そして時には王朝の繁栄や栄枯盛衰を表現するために注いだ

情熱の結晶だと感じた。展示されている品々は単なる「物」ではなく、長い年月をかけて培われた文化や伝統が今に息づいている貴重な証だと実感した。夜は楽しみにしていた夜市でご飯を食べた。食べ物の屋台だけではなく、風船割りやボードゲームなどたくさんあり日本でいうお祭りのようだなと感じた。

■ 4日目：龍山寺、台北 101

4日目は、色んな所に行った。たくさん歩いて大変な日だった。まず、午前中に龍山寺に行った。寺内に入ると、色とりどりの装飾が施された壁や、彫刻が施された柱、そして精巧に描かれた仏像たちが並び、その美しさと歴史の重みに圧倒された。細部にまでこだわった伝統的な装飾は、台湾の古い文化が長い年月をかけて育まれてきた証であり、目に映るすべてが深い意味を持っているように感じました。また、おみくじもあった。台湾語で書いてあったので先生に翻訳してもらい、内容を聞きおみくじも楽しむことができた。その後、目玉の台北 101 を訪れた。台北 101 の中にはたくさんのお店があり、どのお店もブランド店ばかりで圧倒された。最上階に行って景色を見たかったが、運悪く曇りだったためまたの機会にぜひ見たいと思った。

■ 5日目：総括と帰国

最終日は、朝早くホテルを出て、早い飛行機で帰った。朝ご飯は、ホテルの方が親切に用意して下さり、感謝の気持ちでいっぱいだ。空港まで行きのガイドさんがバスの中で、また話してくれてあっという間に空港に着いた。そして、無事帰国することができた。

・幼稚園・小学校での授業と交流

2日目は、私立立人国際小学校・幼稚園に訪問した。この日の授業は、幼稚園の園児達に紙コップで作るけん玉を教えた。授業を通して1番大変だと思ったのは、教えても中々作ってもらえなかったこと。言語の壁があるのももちろんだが、それ以前に教える対象が☒幼い子達だったため上手く教えることの難しさを感じた。教えることは大変だったが、根気強く日本語とジェスチャーで伝えることができ、けん玉を作り終えることが出来た。一人ひとり作るスピードに差があったり、デコレーションやお絵描きに夢中になっている子もいて大変だったが、自分にとって初めての授業というこ

ともあり達成感を感じた。

3日目は、建安国民小学校・幼稚園を訪問した。この日は最初に幼稚園で、桜の木の絵を作る授業をした。昨日の授業を活かし、どのようにして園児たちとコミュニケーションをとっていくか、どのように教えるか考え行動した。今回の授業は一人ひとりではなく一気に複数人に教えるというやり方であったが、個人的にはやりやすかった。先に私がこうやってやるんだよ、と実際に取り組み、それを見てもらい真似してくれて授業を進めることができた。また、幼稚園の先生方も園児たちにこうやってやるんだよ、と台湾語で伝えてくれたり私に対しても気にかけてくださったり、たくさんサポートしてくれたということもあり、昨日よりもスムーズに授業をすることができた。桜の木の部分は茶色い画用紙を破いて貼り付けるという工程で、園児たちが小さく破きすぎて大変というプチハプニングもあったが、素晴らしい満開の桜の木をみんなで作ることができ、とても嬉しかった。

幼稚園での授業後に、小学校で万華鏡を作る授業をした。建安国民の小学生のなかには、芸術に特化した児童もあり、どんな作品を作り上げるのか授業をする前からワクワクだった。今回は万華鏡の作り方の説明書があり台湾語で記載されているものだったので、お手本を見せて分からなくても説明書を見て作ってくれたので幼稚園より教えることにあまり苦労はしなかった。みんな完成して、見せてほしいと伝えたら見せてくれ、その万華鏡の覗いた先はどれも驚くほどに綺麗でとても感動した。周りの装飾もどの作品も素敵で、芸術専門の実力やセンスが伝わった。

授業後、先程まで一緒にいた児童たちと給食を食べるため班になった。みんなと仲良くなりなりたいなと思い自己紹介をしみんなに名前を聞いていた。その中で、なんと日本人の児童がいた。台湾の学校にきて初めて日本語が通じる児童がいて親近感が湧いたのもあったが、なによりとても嬉しかった。みんなと会話をする時は英語やジェスチャーで会話し、なんとか通じて楽しく会話することができた。そして、日本人の児童が日本語と台湾語を翻訳してくれてみんなが何を言ってるのか、何を伝えたいのか理解することができ、また、私の言葉を伝えてくれたおかげでたくさん会話することができた。班の児童たちはみんな明るくて言語の壁など感じないくらい本当に楽しかった。だから、自身にもスムーズに話せるほどの英語力があればと思った。給食はどの料理も美味しく、日本の学校給食にも出てほしいなと思うくらい美味しかった。そして量もたくさん入っていて満足感もあり幸せな気持ちになれた。もっと語学を学び、またみんなに会いたいと思った。

・考察と今後の展望

研修中に得た経験や学びは、私の今後のキャリア形成に大いに役立つ。まず、学校との交流では、チームワークや、コミュニケーション力や向上心、挑戦的な気持ちを高めることができた。一方で、今回の研修では、事前準備不足を痛感した部分もある。例えば、小学校や幼稚園の授業の教えるスピードのペースで授業時間がオーバーするなどと言った予期せぬトラブルに対して、もっと柔軟に対応できる体制が必要だと感じた。今後は、時間配分を徹底するとともに、現地でのコミュニケーションをさらに円滑に行うための準備を進めていきたい。また、今後の国際交流の発展に繋げていきたい。

・さいごに

今回の台湾研修は、短い期間ではあったものの、非常に多くの学びと経験を得る貴重な機会でした。現地での体験を通して、国際感覚、実践的スキル、そして文化理解の重要性を深く認識することができました。これらの学びを今後の業務や自己成長に活かすとともに、さらなる挑戦と成長を目指していきたいです。また、もっと色々な国に行ってみたいと思える研修でした。

最後に、この研修を実現させてくださった関係者の皆様に心から感謝申し上げます。